

# 第4回新丸山ダム水源地域協議会 開催報告

- 「第4回新丸山ダム水源地域協議会」を開催し、瑞浪市、恵那市、八百津町、御嵩町とダム関係機関（関西電力(株)、木曾川水系ダム統合管理事務所、新丸山ダム工事事務所）にて、ダム周辺地域の魅力を高め、地域の満足度を継続的に高める地域振興について基本的な考え方をとりまとめた「新丸山ダム周辺地域振興ビジョン」を策定しました。
- 今年度、3回のワーキングにて検討してきた「魅力をつなぐプロジェクト」について、プロジェクト名称、方針、内容（案）について情報を共有し、来年度の具体的な検討に向けた提案や期待等について意見交換を行いました。



瑞浪市 水野市長



恵那市 小坂市長



八百津町 金子町長



御嵩町 渡邊町長

【水野瑞浪市長】 良い資源を活かすため、情報発信に力を入れていくことが大切である。ゴルフや地歌舞伎の魅力発信、地酒、地酒を入れる器なども、魅力をつなぐプロジェクトに入れることを期待する。

【小坂恵那市長】 面白そうなプロジェクト内容が沢山あり、1つでも実現できると良い。海外からの来訪客も今後増加すると予想されるため、世界を見据えた計画の立案も重要である。

【金子八百津町長】 ダムツーリズムに関する取材内容など新丸山ダムに関する幅広い情報や、水源地域協議会の共通ロゴやオリジナル商品を開発し、関係者でPR・情報発信していくことも重要である。

【渡邊御嵩町長】 海外からの来訪者が中山道を歩きに來たり自然を体感しに來たりしている。都心だけでなく、日本の地方にも十分興味があるため、外国人観光客の誘客の視点も持つことが重要である。

【小森関西電力(株)東海支社長】 プロジェクトの名称から面白いと感じた。一過性のイベントではなく、継続的に人を呼び込める内容にしていくことが重要である。具体的にターゲットを設定し、ココダケ感のあるもので他地域との差別化を図り、多くの人に情報発信していくことが大切である。



関西電力(株)東海支社 小森支社長



木曾川ダム統合管理事務所 渡邊所長



新丸山ダム工事事務所 加納所長



第4回新丸山ダム水源地域協議会の様子



【渡邊木曾川ダム統合管理事務所長】 高齢化社会であるため、裕福な高齢者層をターゲットとすることも1つの方法である。歴史の観点では丸山ダムも歴史の1つであるため、「もうすぐ無くなる丸山ダム」をターゲットに計画することも重要である。

【加納新丸山ダム工事事務所長】 新丸山ダム周辺地域振興ビジョンは、新丸山ダム建設事業を通じて実現したい地域振興の未来・将来像を明文化したものである。プロジェクトの目標実現に向けて、協議会の皆様とタッグを組んで地域の活性化を進めて参りたい。